

1 国語に関する調査

【特長】

- ・知識・技能、思考・判断・表現のいずれの観点においても、バランスよく力を発揮しており、偏りなく学力を伸ばしている様子がみられる。
- ・手紙の下書きを見直す問題において、読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる。

【課題】

- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がみられる。授業において記述問題に取り組む際に、その理由について表記することができるようにしていく必要がある。
- ・学んだ知識を身近な生活や社会の事象に関連づけて表現する場面では十分に力を発揮できておらず、主に振り返りの場面において、実生活に即して解答できるようにする必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・知識・技能、思考・判断・表現のいずれの観点においても、バランスよく力を発揮しており、偏りなく学力を伸ばしている様子がみられる。
- ・証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができる。

【課題】

- ・事柄が常に成り立つとは限らないことを説明することに課題がみられる。反例をあげるために命題の条件を意識し、反例の意義を理解できるようにする必要がある。
- ・相対度数の意味を理解しているかどうかをみることにについて、実データを用いて割合を捉え、自分の言葉で説明できるようにする必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、抵抗に関する知識が概念として身に付いている。

【課題】

- ・資料をもとに新たな疑問を考えたり、自分の考えを発展させたりする力について課題がみられる。今後も資料の読み取りを丁寧に指導していく中で、実験の前後に考えたり議論したりする機会を多く設けるようにする必要がある。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ・授業で ICT 機器を活用する力が身に付いており、自分を表現する方法の一つとして利用する生徒が多い。特に、総合的な学習の時間では自ら課題を立て、情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動を積極的に行っている生徒が多い。また、家庭学習にも力を入れ、学習習慣が身に付いている生徒も多い。
- ・「学校に行くのは楽しい」「自分には良いところがある」「夢や目標を持っている」と回答した生徒が多い。今後も生徒の良いところを認め、ほめていくことを大切にしたい。

【課題】

- ・「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人に相談することができる」と回答した生徒が少ない。学年経営の中で、すべての職員が生徒たちの声に耳を傾け、関わり合いを大切にする姿勢を持つ必要がある。
- ・「本や新聞を全く読まない」と回答した生徒の割合が高い。学校図書館などを活用して活字に触れる時間を増やす必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・学校教育目標を実現するために、生徒を主体とした授業づくりに取り組んでいる。ICT機器を活用するなど、互いに高め合える場面を増やし、習得した知識や技能を深い学びにつなげていく。
- ・生徒が見通しを持って学習に取り組めるように各時間の学習目標を示すとともに、確かな学力の定着のために授業の最後に振り返り活動を行う。また、家庭学習の充実につなげられるように支援する。
- ・引き続き、生徒が安全で安心して生活でき、自己肯定感・自己有用感が高まるような学校・学年経営を目指す。
- ・読書活動の推進にむけて、購入希望図書のアンケート実施、図書だよりでの新着図書の紹介、学校図書館前での新聞の配架など、新聞や読書に親しむ機会を増やしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・子どもたちが地域の一員であることを継続して意識できるように、お子さんと共に地域の行事に参加するなど、ご協力をお願いいたします。
- ・インターネットやスマートフォンの扱いに関する家庭内のルールを確立するなどのご対応ありがとうございます。今後もお子さんが ICT 機器を適切に活用していけるようにご協力をお願いいたします。
- ・ニュースを一緒に見たり、時事問題や社会の出来事をご家庭でも話したりするなど、社会や地域への関心を高める機会が増えるようにご協力をお願いいたします。